

機動隊員等を励ます会

中四国支部総会に300人

6年ぶり開催



堀口支部長

機動隊員等を励ます会中国四国支部（支部長＝堀口悟史・堀口海

運社長）は11日、広島市内のホテルで広島県警と中国四国管区の機動隊員らを招き、総会・激励会を開催、警察幹部や会員の鉄鋼関連企業など約300人が出席した。

冒頭、堀口支部長は「6年ぶりの支部総会の開催をうれしく思

う。当支部は、2020年に中国支部が中国四国支部として拡大・改組したが、コロナ禍の影響により今回改組後一回目の総会を開催できたこと、そして自身も一昨年に支部長を拝命して以来、やっと皆さまに会いさつできたことで、二重の喜

びを感じている。機動隊の皆さまの奮闘により国民の安心・安全が支えられている。激励の輪がより広く一般に広がることを祈るとともに、本日の会が機動隊の皆さまへの感謝の思いをしっかりと伝えられる場となれば幸いです」とあいさつ。

続いて機動隊員等を励ます会の中村真一理事長（日鉄物産社長）は「機動隊の皆さまの活動は、国際会議での各国首脳警備、国際アロやサイバーテロに対する警備、自然災害警備などその頻度や規模が年々拡大しているが、治安の最後のとりでであるという誇りと自信



中村理事長

を持って職務にまい進されることを祈る。機動隊員等を励ます会は今年3月に創立50周年を迎え、これからも引き続き激励・支援を行っていく」と述べた。激励会では、広島県警察音楽隊による演奏や、会員継続30年の記念表彰などが行われた。歓談の後、最後は機動隊の応援歌「この世を花にするために」を全員で合唱、日本製鉄の白田学中国支店長の万歳三唱で閉会した。